

スリープウィーバーマスクの使用経験

大杉浩一

非侵襲的陽圧換気（NPPV）では、鼻型・フルフェイスマスク（鼻口）型・トータルフェイス（顔面全体）型・ヘルメット型等のマスクを疾患や患者の状態に合わせて使い分けている。スリープウィーバーマスクは、上記の分類では鼻型マスクに属するが、従来型鼻型マスクと違いすべてのパーツが布（シリコンフリー、ラテックスフリー）でできている。

改善点として、①一般的なNPPV用マスクにおける呼吸ポートの代用として繊維の編み目によるリークを用いており騒音が少ない、②フィッティングが簡便で眼鏡をかけたりテレビを見たりすることも可能、③重みや圧迫感がなく接触部位における皮膚トラブルや褥創の危険性が少ない、④簡単に洗濯でき使用者ごとに再利用が可能、など従来型にみられた多くの問題を解決した鼻型マスクである。

人工呼吸器の設定範囲はPEEP/ 吸気圧ともに4～20cmH₂Oである。使用制限としては呼吸弁付きの回路を用いているNPPV用人工呼吸器では使用不可である。またデザインに関しても現在（2010年7月）計5種類あり、入院患者ならびに在宅患者への精神面での負担軽減にも有用であると考えられる。

●症 例

70歳代女性。基礎疾患に関節リウマチがあり、呼吸障害にて入院。ニューモシスティス肺炎（PCP）と診断しNPPV（BiPAP[®] Vision）を導入した。低酸素血症の改善に伴い、フルフェイスマスクでは会話しにくいこと、およびマスクに対する圧迫感を訴えたため、鼻型マスクに変更した。経過中、PCP治療薬（ST合剤）に対する薬剤性多型滲出性紅斑が出現したため、マスク接着部に対する皮膚保護剤の貼付が皮膚への刺激となり、スリープウィーバーマスクを導入した。変更後は皮膚に対する刺激はなく、マスクフィットも良好で

あり、変更に伴う呼吸状態の悪化はみられなかった。重み・圧迫感がなくなったことで患者の負担感が軽減でき好評であった。またCPAP 8 cmH₂Oでも安定して維持できた。

●考 察

当科では、上記症例を含め5症例に対しスリープウィーバーマスクを使用しており、すべての症例において治療経過および患者満足感において良好な結果を得た。全症例とも従来型鼻マスクから変更であったが、その効果においては従来型マスクと同等であると考えられた。使用感に関しても、従来型マスクとの比較において満足感は高く、日常生活においても不愉快な点はないとの回答が多く見られ、睡眠時の使用に関しても騒音やマスクの違和感による中途覚醒はみられなかった。1例で不意の寝返りによる体位変換時にマスクが折れマスク内圧の低下が見られたが、呼吸回路に十分な余裕を持たせることで対処可能であった。また、皮膚保護剤の使用の有無にかかわらず皮膚トラブルの発生は見られず、皮膚の弱い患者への使用に関しても制限はないと考えられた。

スリープウィーバーマスクは、従来型鼻型マスクと比較し機能的にも同等の治療効果を有し、また患者への負担軽減が得られるという点において新しいタイプのマスクといえる。

Sleep Weaver Mask

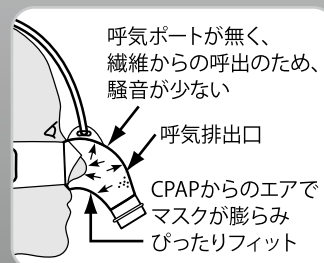
スリープウィーバーマスク

米国製

全てのパーツが**布**でできた 初のマスク

ブルー・ピンク・ベージュ・豹柄・迷彩柄の5色から選べます。

シリコンフリー・ラテックスフリーの
マスクが従来型マスクの問題点を
解決します。



ネーザルCPAP装置やマスク専用のバイレベル装置に
4～20 cmH₂Oの治療圧で使用できます。

- 軽くて装着感が良いので、患者様のご協力が得られやすいです。
- 肌への負担を最小限に抑えられ、鼻のまわりなどの褥創を防ぎます。
- 顔に負荷される圧迫が少なくて済みます。
- 仰臥位・側臥位・腹臥位などあらゆる体位で使用できます。
- 加温加湿器使用中でも、マスクの中に結露ができてにくい構造です。
- 洗浄やお手入れがしやすく、コストパフォーマンスに優れています。



販売元

株式会社MAGnet

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-3-21-404

TEL: 03-3200-7033 FAX: 03-3200-7034

<http://www.magnet-japan.com/>